

平成 28 年度上半期

業務のご報告

ミニディスクロージャー誌



鳥取いなば農業協同組合

ごあいさつ

日頃より、皆さまにはJ A鳥取いなばの各事業におきまして格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび当組合は、経営の透明性を高める観点から、平成 28 年度上半期決算の情報を開示するとともに、これまでの活動状況をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。本誌を通じて、皆さまの当組合へのご理解が一層深まることを願っております。

J A鳥取いなばの概要

- | | |
|--|------------------|
| ● 設 立 | 平成 7 年 1 0 月 |
| ● 本店所在地 | 鳥取市行徳 1 丁目 1 0 3 |
| ● 組 合 員 | 33,115 名 |
| (うち正組合員) | 16,462 名 |
| (うち准組合員) | 16,653 名 |
| ● 出 資 金 | 6,225 百万円 |
| ● 役 員 数 | 理事 33 名、監事 6 名 |
| ● 正 職 員 数 | 458 名 |
| J A鳥取いなばホームページ http://www.jainaba.com/ | |
| いなばのええもん届ける便 http://www.jainaba.net/ | |

(平成 2 8 年 7 月 3 1 日現在)

経営理念

- ◆ 潤いのある農業・農村づくり
- ◆ ころろ豊かなふれあいづくり
- ◆ 信頼される J Aづくり

目 次

- J A鳥取いなばの概要…………… 1
- 事業のトピックス…………… 2
- 地域に関する取り組み…………… 3
- 事業の概況…………… 4
 - リスク管理債権について…………… 5
 - 中間貸借対照表、中間損益計算書…………… 6

事業のトピックス

● 砂丘らっきょうの地理的表示（G I）保護制度への登録

鳥取市福部町の特産品「砂丘らっきょう」が、3月10日に地理的表示（G I）保護制度の新たな登録産品に認定されました。“鳥取砂丘らっきょう”と“ふくべ砂丘らっきょう”の2つの商標で登録が決まり、全国で11番目、中国地方では初となります。特性である色の白さとシャキシャキ感が、生産100年の歴史に裏付けされた福部町独自の風土と伝統に結びつくものであることなどが評価されました。



5月23日の初出荷式では、G I認証のらっきょう35トンを全国27市場へ向けて送り出しました。

● いなば産「きぬむすめ」販路拡大

大手コンビニセブンイレブンのおにぎりに、いなば産「きぬむすめ」が採用されることが決まり、2月16日、セブンイレブンのおにぎりを納入する（株）武蔵野の安田定明代表取締役会長と当組合の谷口節次組合長が、埼玉県にある（株）武蔵野本社で「きぬむすめ」の美味しさを消費者に届け、取引拡大に向けて連携することを誓いました。

「きぬむすめ」はその食味の良さだけでなく、とても白く艶やかに炊きあがるなど外観からも注目されており、鳥取県産米としての評価も高いことから有望品種として期待が高まっています。今年度3万3,000袋を供給し、生産振興と併せて更なる販路拡大を目指します。

● 熊本地震被災地復興支援活動

4月に発生した熊本地震に対するJAグループ鳥取の支援活動が実施され、当組合からも有志2名が被災地の援農活動に取り組みました。復興を願い、住宅倒壊などで農作業の遅れをとっている生産者の収穫応援や、人手不足となっている農作物の出荷をサポートしました。



地域に関する取り組み

当組合は鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにも利用していただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け、事業活動を展開しております。また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

(1) 地域からの資金調達の状況

当組合の平成28年7月末の貯金・定期積金残高は1,667億2,949万円です。

(2) 地域への資金供給の状況

① 貸出金残高

当組合の平成28年7月末の貸出金残高は370億837万円です。貸出先別の残高は組合員の皆さまへ213億989万円、地方公共団体等へ145億4,783万円、その他組合員外の皆さまへ11億5,064万円となっています。

② 制度融資取扱状況

当組合では、農業経営を支援するための制度融資を取り扱っております。平成28年7月末の主な取扱残高は農業近代化資金1億5,381万円、日本政策金融公庫資金7,828万円、就農施設等資金1億1,491万円、青年等就農資金4,413万円となっています。このほかにも畜産や果樹生産に係る資金などをご利用いただいております。

● 支店協同活動

当組合は、地域に根ざした活動を活発化させるため、平成23年度より「JAらしい支店づくり」を宣言し各支店が様々な活動を行う「支店行動計画」に取り組んでいます。主な活動内容として、「食と農」をテーマに行政や教育機関等と連携した体験学習などを実施しているほか、地域のお祭りや美化運動への参加、地域間交流などがあります。

● 情報提供活動

組合員向け広報誌「ハローいなば」をコミュニケーションツールとして毎月発行するほか、地域住民及び消費者向けのJA情報誌「HELLO INABA」を新聞折込として年2回発行するなど、JA鳥取いなばの活動をはじめ地元農産物や生産者、農業情報など幅広く発信しています。

事業の概況

(1) 主な事業実績の推移

(単位：千円)

項 目	平成 27 年 7 月末	平成 28 年 1 月末	平成 28 年 7 月末
貯 金	166,923,718	168,223,726	166,729,494
貸 出 金	38,943,699	38,268,264	37,008,378
預 け 金	114,921,151	117,130,473	117,799,826
有 価 証 券	1,512,633	1,206,354	901,360
長 期 共 済 保 有 高	795,085,500	773,065,330	757,506,050
事 業 総 利 益	2,065,418	4,118,637	2,106,676
信用事業総利益	607,464	1,108,401	638,786
共済事業総利益	719,322	1,351,038	730,342
購買事業総利益 (購買品供給高)	465,410 (5,175,008)	857,081 (9,202,210)	460,910 (4,757,012)
販売事業総利益 (販売品販売高)	65,966 (2,720,409)	225,488 (7,415,675)	72,560 (3,000,900)
その他事業総利益	201,209	622,568	201,014
指導事業収支差額	6,044	△45,940	3,061
経 常 利 益	20,574	278,124	101,563
当 期 剰 余 金	16,522	246,365	72,737

(2) 自己資本比率の状況

自己資本比率とは、経営の健全性を示す指標の一つで、J Aが保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示し、自己資本比率は数字が高いほど、一般的に「体力」があると考えられています。J Aは自主ルールにより基準を8%以上（国内基準は4%）と独自に健全性のハードルを高くしております。

平成28年1月末における当組合の自己資本比率は11.11%となりました。

自己資本比率（単体）

平成 28 年 1 月末	平成 28 年 7 月末（推計値）
11.11%	11.29%程度

(注) 平成28年7月末の自己資本比率（推計値）は、平成28年1月末の自己資本額、リスクアセットの額を基準として、7月末までの資産増減から推計される増減額を加減して算出しております。なお、オペレーショナルリスク相当額と信用リスクアセット額の一部については、平成28年1月末の計数を用いて算出しております。

(3) リスク管理債権について

リスク管理債権とは、貸出金のうち元本または利息の支払の遅延が継続している等一定の条件に該当するものです。

(単位：百万円)

区 分	平成 28 年 1 月末	平成 28 年 7 月末	増 減
破綻先債権額	75	75	△0
延滞債権額	936	808	△128
3ヶ月以上延滞債権額	42	42	△0
貸出条件緩和債権額	116	115	△1
合 計	1,171	1,040	△131

(注) 債権区分額は平成28年1月末資産査定結果を基準に、与信残高を平成28年7月末時点のものに修正して算出しております。

用語の説明

① 破綻先債権

元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本または利息の取り立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金をいいます。

② 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、①に掲げるもの及び債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金をいいます。

③ 3ヶ月以上延滞債権

元金または利息の支払が約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞している貸出金（上記①及び②に掲げるものを除く）をいいます。

④ 貸出条件緩和債権

債務者の再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金（上記①、②及び③に掲げるものを除く）をいいます。

(4) 有価証券の時価情報

・ その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

種類	平成 28 年 7 月末				
	取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
社 債	900	901	1	2	1
合 計	900	901	1	2	1

(注) 1. 時価は、平成28年7月末日における市場価格等に基づいています。

2. 平成28年度7月末における満期保有目的有価証券、売買目的有価証券及び金銭の信託はありません。

(5) 中間貸借対照表 (平成28年7月31日現在)

(単位: 千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	156,753,883	1 信用事業負債	167,555,365
(1) 現金	960,299	(1) 貯金	166,729,494
(2) 預金	117,799,826	(2) 借入金	227,444
(3) 有価証券	901,360	(3) その他の信用事業負債	598,425
(4) 貸出金	37,008,378	2 共済事業負債	946,783
(5) その他の信用事業資産	247,479	3 経済事業負債	2,156,806
(6) 信用貸倒引当金	△163,460	4 設備借入金	1,525,920
2 共済事業資産	108,543	5 雑負債	250,889
3 経済事業資産	4,465,676	6 諸引当金	1,727,495
4 雑資産	2,347,423	7 繰延税金負債	3,018
5 固定資産	12,741,813	負債の部合計	174,166,279
6 外部出資	4,807,375	(純資産の部)	
		1 組合員資本	7,057,347
		(うち当期剰余金)	(72,737)
		2 評価・換算差額等	1,088
		純資産の部合計	7,058,436
資産の部合計	181,224,715	負債及び純資産の部合計	181,224,715

(6) 中間損益計算書 (平成28年2月1日から平成28年7月31日まで)

(単位: 千円)

科目	金額	科目	金額
1 事業総利益	2,106,676	利用事業総利益	94,128
(1) 信用事業収益	857,208	その他の事業総利益	60,585
(2) 信用事業費用	218,421	指導事業収支差額	3,061
信用事業総利益	638,786	2 事業管理費	2,038,869
(3) 共済事業収益	771,277	事業利益	67,807
(4) 共済事業費用	40,934	3 事業外収益	204,928
共済事業総利益	730,342	4 事業外費用	171,172
(5) 購買事業収益	4,909,961	経常収益	101,563
(6) 購買事業費用	4,449,050	5 特別利益	29,121
購買事業総利益	460,910	6 特別損失	53,742
(7) 販売事業収益	88,875	税引前当期利益	76,942
(8) 販売事業費用	16,314	法人税・住民税及び事業税	4,335
販売事業総利益	72,560	法人税等調整額	△130
保管事業総利益	1,638	法人税等合計	4,204
加工事業総利益	44,662	当期剰余金	72,737

- ・ 農業協同組合において中間決算での情報開示は法定化されていないため、当組合では本決算に準じた手続により仮決算を実施し、自主的に開示しております。
- ・ 本誌に掲載している計数は、単位未満を切り捨てて表示しており、合計と一致しない場合があります。
- ・ 期末残高が無いものは「-」、表示単位に満たないものは「0（ゼロ）」で表示しております。

鳥取いなば農業協同組合

〒680-0824 鳥取県鳥取市行徳1丁目103

TEL. 0857-32-1100(代) FAX. 0857-32-1130

平成28年9月発行 編集. 企画管理部企画管理課